

平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年2月15日

会社名 株式会社昭和真空 (JASDAQ・コード番号: 6384)
 (URL <http://www.showashinku.co.jp>)
 代表者 役職 名 代表取締役社長
 氏 名 小俣 邦正
 問い合わせ先 役職 名 常務取締役
 責任者 氏 名 斉藤 晴信 TEL: (042) 764-0385

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 税金費用の算出につきましては、法定実効税率を採用した簡便法によっております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 当連結会計年度より昭和真空機械（上海）有限公司、昭和真空機械貿易（上海）有限公司及び株式会社SPTを連結の範囲に含め、連結決算を開始しております。

2. 平成18年3月期第3四半期業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

平成18年3月期が連結財務諸表作成の初年度であるため、平成17年3月期第3四半期及び平成17年3月期につきましては記載しておりません。

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	7,883	(-)	203	(-)	66	(-)	△25	(-)
17年3月期第3四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)17年3月期	-		-		-		-	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	△3	99	-	-
17年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)17年3月期	-	-	-	-

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。前年同四半期において連結決算を行っていないため記載しておりません。
2. 当第3四半期は四半期純損失のため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や株価の上昇傾向など、穏やかな景気回復基調で推移しました。しかしながら、原油価格の高騰、所得税の定率減税廃止や社会保険費の負担増など先行きの不安要素が残っており、依然として楽観できない状況もあります。

このような環境の中で、当社の主要顧客である水晶デバイスメーカーは、海外市場を中心とした携帯電話の需要増やパソコン・車載向けデバイス生産の活況等により、設備投資は増加傾向となりました。また、光学デバイス業界においては、カメラ付携帯電話の普及やパソコン、デジタルカメラ・DVDなどのデジタル家電市場が徐々に活況を取り戻しつつあり、設備投資の気運も高

まっております。電子・その他部品業界に関しては、ますます激化する薄型テレビの競合や新技術、新製品の開発競争もあって、研究開発投資などの引合いが活発化しました。

こうした中、当社は、需要が旺盛な水晶デバイスメーカーを中心としながら、光学関連業界、電子部品業界に積極的に営業展開を図る一方、標準化の推進や総固定費の削減などの収益改善策を実施、次期戦略装置の開発などにも注力してまいりました。

この結果、第3四半期までの受注高は、76億40百万円、売上高は、78億83百万円となりました。利益面では、競合の激化などによる価格低下圧力や、昭和真空機械（上海）有限公司が昨年8月より生産を開始したことによる開業準備費用約1億2千万円の一括償却などにより、経常利益66百万円、当期純損失25百万円となりました

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	14,120	7,387	52.3	1,143 86
17年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)17年3月期	—	—	—	—

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	△386	△69	618	1,454
17年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)17年3月期	—	—	—	—

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

① 財政状態の変動状況

当期より昭和真空機械（上海）有限公司、昭和真空機械貿易（上海）有限公司及び株式会社SPTを連結の範囲に含め、連結決算を開始しております。その結果、当第3四半期の総資産は14,120百万円、株主資本は7,387百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期の営業活動により支出した資金は3億86百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益65百万円、仕入債務の増加3億40百万円、減価償却費2億円及びたな卸資産の減少1億32百万円等による増加がありましたが、売上債権の増加11億22百万円等による減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期の投資活動により支出した資金は69百万円となりました。これは主に、定期預金等の払戻による収入30百万円がありましたが、定期預金等の預入による支出16百万円、有形固定資産の取得による支出53百万円及び投資有価証券の取得による支出29百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期の財務活動による資金収入は6億18百万円となりました。これは、短期借入金の増加による収入7億50百万円及び新株発行による収入1百万円がありましたが、長期借入金の返済による支出69百万円及び配当金の支払による支出63百万円があったことによるものです。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物残高は14億54百万円となりました。

3. [業績予想に関する定性的情報等]

[参考]

平成18年3月期の業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	10,920	206	53

[業績予想に関する定性的情報等]

当社の主力製品であります水晶デバイス装置の需要増加及び光学・電子部品装置の引合いが上昇すると予想されることから、売上、利益ともに、当初予定を上回ると判断し、通期業績を上方修正致しました。

なお、平成18年3月期予想に関しましては、本日開示致しました「平成18年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

上記の予想は、作成時点における経済環境や当社をとりまく事業環境に基づく予想であり、実際の業績は様々な要素により、これらの業績予想とは異なる場合があります。

4. セグメント情報（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 売上高 (単位：百万円)

製品区分	区 分	当四半期
		(平成18年3月期第3四半期)
水 晶 デ バ イ ス 装 置		2,949
光 学 装 置		1,789
電 子 ・ そ の 他 装 置		2,397
部 品 販 売 、 修 理 ・ そ の 他		746
合 計		7,883

(2) 受注高 (単位：百万円)

製品区分	区 分	当四半期
		(平成18年3月期第3四半期)
水 晶 デ バ イ ス 装 置		3,847
光 学 装 置		1,826
電 子 ・ そ の 他 装 置		1,219
部 品 販 売 、 修 理 ・ そ の 他		746
合 計		7,640

(3) 受注残高 (単位：百万円)

製品区分	区 分	当四半期末
		(平成18年3月期第3四半期)
水 晶 デ バ イ ス 装 置		1,824
光 学 装 置		775
電 子 ・ そ の 他 装 置		532
合 計		3,133

(当中間決算期から、昭和真空機械（上海）有限公司、昭和真空機械貿易（上海）有限公司、株式会社 SPT を連結対象とした連結決算を開始しました。その為、前年同期との対比はおこなっておりません。)

[添付資料]

1. (要約)第3四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

区 分	当第3四半期 (平成17年12月31日現在)	
	金 額	構成比
(資産の部)		
I 流動資産		
1 現金及び預金	1,539,821	
2 受取手形及び売掛金	4,490,565	
3 たな卸資産	1,938,508	
4 その他	299,704	
流動資産合計	8,268,600	58.6
II 固定資産		
1 有形固定資産		
(1) 建物	1,457,063	
(2) 土地	3,496,395	
(3) その他	387,110	
有形固定資産合計	5,340,569	37.8
2 無形固定資産	57,764	0.4
3 投資その他の資産	453,317	3.2
固定資産合計	5,851,651	41.4
資産合計	14,120,251	100.0

(単位：千円、%)

区 分	当第3四半期 (平成17年12月31日現在)	
	金 額	構成比
(負債の部)		
I 流動負債		
1 支払手形及び買掛金	3,024,995	
2 短期借入金	1,700,000	
3 1年以内返済予定長期借入金	97,992	
4 1年以内償還予定社債	900,000	
5 未払法人税等	9,843	
6 賞与引当金	23,226	
7 製品保証引当金	135,100	
8 その他	221,945	
流動負債合計	6,113,102	43.3
II 固定負債		
1 長期借入金	208,016	
2 長期預り保証金	2,000	
3 退職給付引当金	273,514	
4 役員退職慰労引当金	136,000	
固定負債合計	619,530	4.4
負債合計	6,732,632	47.7
(少数株主持分)		
少数株主持分	—	—
(資本の部)		
I 資本金	2,160,056	15.3
II 資本剰余金	2,736,926	19.3
III 利益剰余金	2,454,350	17.4
IV その他有価証券評価差額金	54,669	0.4
V 為替換算調整勘定	△18,333	△0.1
VI 自己株式	△50	△0.0
資本合計	7,387,619	52.3
負債及び資本合計	14,120,251	100.0

2. (要約) 第3四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

区 分	当第3四半期	
	自平成17年4月1日 至平成17年12月31日	
	金 額	百分比
売 上 高	7,883,128	100.0
売上原価	6,578,086	83.4
売上総利益	1,305,041	16.6
販売費及び一般管理費	1,101,503	14.0
営 業 利 益	203,538	2.6
営業外収益	21,719	0.3
営業外費用	159,228	2.1
経 常 利 益	66,029	0.8
特 別 損 失	247	0.0
税金等調整前四半期純利益	65,781	0.8
税 金 費 用	91,518	1.1
四半期純損失	△25,736	△0.3

3. (要約) 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当第3四半期 自平成17年 4月 1日 至平成17年12月31日
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	65,781
減価償却費	200,650
貸倒引当金の減少額	△660
受取利息及び受取配当金	△1,656
支払利息	17,335
売上債権の増加額	△1,122,091
たな卸資産の減少額	132,447
仕入債務の増加額	340,741
退職給付引当金の減少額	△1,521
賞与引当金の減少額	△78,537
製品保証引当金の減少額	△29,800
還付消費税の減少額	35,598
その他	76,786
小 計	△364,925
利息及び配当金の受取額	1,787
利息の支払額	△17,184
法人税等の支払額	△6,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	△386,377
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金等の払戻による収入	30,000
定期預金等の預入による支出	△16,504
有形固定資産の取得による支出	△53,426
無形固定資産の取得による支出	△1,092
投資有価証券の売却による収入	818
投資有価証券の取得による支出	△29,959
その他	1,062
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,102
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	750,000
長期借入金の返済による支出	△69,328
新株発行による収入	1,688
配当金の支払額	△63,617
財務活動によるキャッシュ・フロー	618,742
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	9,348
V 現金及び現金同等物の増加額	172,611
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,282,302
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,454,914